

## 中期目標（修正案）に対する意見と対応

区分	番号	意見内容	対応方針
基本的な目標	1	「現代日本に合った価値観のもと」の部分で表現に違和感が残る。 ・「現代～」の意味の説明が足りない。 ・「合った」は「ふさわしい」など、より適切な表現があるのではないか。 ・「～のもと」という表現は固いし、基本構想にある「～価値観の『再構成』」の意味が含まれなくなってしまう。	文言を精査し、改めた。
	2	前段の文章と後段の基本理念を、「これらを踏まえ」でつないでしまっているため、二者の関係が分かりづらい。	
	3	前段の文章で、「これまでの『芸術』領域にとらわれない」とあるが、美術大学としてはより正確な表現である『美術』とすべきではないか。 第2の3(1)にも同様の表現あり。	『美術』に改めた。
第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	1(3)ウ 教育活動の評価および改善に関する目標		
	4	ファカルティ・ディベロップメントについては、「『教員の』教育力を向上させるための～」とすべきではないか。	字句を追加し、改めた。
	3(1) 研究水準および研究の成果等に関する目標		
	5	「地域の～特色ある『課題』」と書くと、抱えている問題点のように誤解されるおそれがある。「テーマ」などと表現してはどうか。	誤解のないよう字句を改めた。
	3(3) 研究活動の評価および評価結果を研究の質の向上に結びつける体制の整備に関する目標		
	6	項目が評価に関する部分の整理・統合により削除されてしまったので、人事評価とは切り離れた形で研究水準の維持向上に資する項目を3(1)に追加できないか。	研究水準の向上に資する目標を検討し、3(1)「研究水準および研究の成果等」に項目を追加した。
	5 国際交流に関する目標		
	7	「学生の海外留学～」の項目については、現段階の目標として『体制を整備する』とするのは厳しいのではないか。	達成の難度を考慮し、『体制の整備を進める』と表現を弱めた。
第3 業務運営の改善および効率化に関する目標	1(2) 事務職員・教員の連携強化に関する目標		
	8	「～制度を『構築』する」とあるが、制度設計の目標が明確でないため、目標にはなりにくいのではないか。 また、1(1)「効果的・機動的な組織運営に関する目標」と内容が包含関係にあるため、内容の整理を行うべきではないか。	内容の整理を行い、項目名と記載表現を改めた。
	9	項目名の「事務職員・教員」の語句は「教職員」などとするのが一般的で、違和感がある。 文章に合わせて「事務職員と教員」としてはどうか。	